広報かじき

No.291
昭和54年 5月号

発行／加治木町
編集／総務課
印刷／(有)吉屋印刷

子供の日

五月五日は、子どもの日。そして国民の祝日。
「男の子のお節句だけお休みなんてずるいわ」と
女の子。「女の子はいいな、ひな祭りと子どもの日
と両方祝ってもらえるんだもんね」と男の子。

（春日団地にて）

◈人口21,957（－110）男10,476（－51）女11,481（－59）世帯 7,110（－13）54.4.1現在（　）前月比

定例第一回町議会

各種委員の報酬改正や母子家庭等医療費補助を新設

第一回定例町議会は、三月十二日から三十日までの十九日間の会期で開かれ、昭和五十四年度予算をはじめ、議案二十二件、陳情三件、報告一件が上程され、審議された結果、議案は全部原案可決、陳情三件も採択されました。

新年度施政方針や予算の内容、助役の選任については四月号で掲載したとおりですが、本紙では各種委員の報酬引き上げなどおもなものについて掲載いたします。

各種委員の報酬や費用弁償を改正

町の教育委員や農業委員、それに他の各種委員の報酬、費用弁償は四月一日から別表(1)（おもなものを掲載）のように改正されました。

町消防団員の報酬も改正

町消防団員の報酬を四月一日から引き上げようとするもので、別表(2)のとおり改正されました。

東蔵王団地の家賃一八、五〇〇円に

反土、口ノ町に建設中であった町営住宅（東蔵王団地十六戸）が三月に完成。この家賃が月額一万八千五〇〇円（第二種中層耐火構造）に四月一日から施行することに決まりました。

育英奨学資金貸付額をアップ

町内に居住する者の子弟（高校大学に進学又は在学する学徒）に対し、育英奨学資金を貸付けているもので、この貸付金の額が次のとおり引き上げられました。

高校に在学するもの、月額四、〇〇〇円を五、〇〇〇円に、大学に在学するもの、八、〇〇〇円を一〇、〇〇〇円に改められました。

母子家庭等医療費を助成する条例を制定

今年度から新しく母子、父子、父母のない家庭の児童に対し、医療費を助成する条例が制定されました。

これは、医療費の助成を行なうことにより、母子家庭等の保健の向上と福祉の増進を図ることを目的として新設されたものです。

国民健康保険・被保険者の葬祭費を改正

被保険者が死亡したとき、その者の葬祭を行う者に対し、葬祭費として支給している額五、〇〇〇円を一〇、〇〇〇円に改めたものです。

町水道施設第四次拡張事業を実施

本町の水道事業は第三次拡張工事が完成し、給水人口一六、〇〇〇人の能力を持っておりますが、将来の区域内給水人口増加に対処するため第四次拡張事業を行ない豊富な水を確保するため、本年度から昭和五十七年まで六億八千万円をかけ、綱掛川添い等に深井戸五本をさく井し揚水、配水池等、水道施設を拡大しようとするものです。

町道路線の認定

本町道路線が次のとおり認定されました。

▽諏訪神社線　諏訪町、延長一三〇メートル
▽中福良西線　木田大園から石ノ脇、延長三四三メートル
▽楠園南線　木田平田、延長二〇二メートル
▽川内中通線　小山田小山尻から石ノ丸、延長二三〇メートル

（別表1）各種委員の報酬等

区分	新（円）	旧（円）
教育委員長	（月）二八、〇〇〇	（月）二五、〇〇〇
委員	二一、〇〇〇	一九、〇〇〇
農業委員会長	四〇、〇〇〇	三六、〇〇〇
職務代理	二三、〇〇〇	二一、〇〇〇
委員	二二、〇〇〇	二〇、〇〇〇
各種専門委員	（日）二、五〇〇	（日）二、三〇〇
各種委員	二、三〇〇	二、二〇〇
費用弁償	五〇〇	四〇〇

（別表2）消防団員の報酬

区分	新（円）	旧（円）
団長	（年）九五、〇〇〇	（年）八八、〇〇〇
副団長	五九、〇〇〇	五五、〇〇〇
分団長	四五、〇〇〇	四二、〇〇〇
副分団長	三六、〇〇〇	三三、〇〇〇
部長	二七、〇〇〇	二五、〇〇〇
班長	二五、〇〇〇	二三、〇〇〇
団員	二四、〇〇〇	二二、〇〇〇
特殊技術者	二五、〇〇〇	二三、〇〇〇
出勤手当（災害・訓練）	（一回）二、六〇〇	（一回）二、四五〇

決意新たに22人の新議員が誕生

四月二十二日行われた町議会議員選挙は、定数二十二人に対し、二十四人が立候補、少数激戦が展開されましたが、即日開票の結果、次の新しい議員が誕生しました。

当日の有権者総数は一四、八一〇人、投票総数は一二、六八八人で投票率は八五・六七％でした。これに伴い二十四日、議事堂で当選証書の授与式が行われ、大脇選挙管理委員長から真っ黒く日焼けした各議員に当選証書がわたされました。つづいて東町長から「ご当選おめでとうございます。私は町民を代表してお祝い申し上げます。今後厳しいこともあるかとも思いますが、これから四年間町民の期待する町政にご活躍ください」とお祝いを申し述べました。

大脇選挙管理委員長から当選証書が授与

票数	氏名	年齢	党派
六九九	徳永　一男	五五	無現
六三六	猪俣　信男	六六	無現
六三六	大吉　操	五八	無現
六三三	下猶　篤男	六二	無現
六〇九	松元　茂	五四	無現
六〇四	東　藤男	六三	無現
六〇二	泉　武麿	五五	公現
五八八	川崎　鉄雄	五五	社現
五八四	下楠薗　正	五六	無現
五五五	土橋　兼義	二六	共新
五四七	溝口　久男	五一	無現
五四四	福元　司	四六	無現
五三八	田中　高雄	五五	無現
五二〇	山崎　昭	五一	無現
四九九	末広　一	五一	社元
四七九	岩田　一郎	六一	無元
四七六	中原　久朗	六七	社現
四六三	郡山　利春	五七	無現
四六一	犬童　秀清	六三	無現
四四一	宮路　義和	四三	無新
四二八	阿久根重雄	六九	無新
四一五	迫田　正則	四六	無新

町行政連絡員110人に辞令交付

町では、今年も一年間、町行政のはしわたしとしてよろしくお願いしますと、四月二十五日、昭和五十四年度行政連絡員の辞令交付式を町福祉センターで行ないました。

今年は、日木山団地が一部落増えて百十人となりました。これを代表して東塩入の村下久信さんに東町長から辞令の交付が行なわれました。

つづいて町長は「町行政の複雑な事務等をお願いすることに対し大変感謝しています。町としても統合中学校等諸事業を進める上でも地域住民の協力がなければ進展しません。どうかこの一年間よろしくお願いします。」とあいさつ。

この後、各課からの連絡等があり交付式は終りました。

文化財めぐり 34 安国寺

反土・札立

足利尊氏が延元の頃（一三三六～一三四〇）国家統一、国土安穏の祈礼場として、日本六十余州に一国一ケ寺を建てることになり、日向は飫肥、薩摩は川内、大隅は加治木におかれたのである。当寺の開基は第九十六代後醍醐天皇の暦応二年（一三三九）で、臨済宗京都妙心寺の末寺であったが、いまは京都相国寺の末寺となっている。開山は、通夷で、近衛家の子息と伝えられている。古老の口碑に、もとこの寺はいまの場所から二〇〇㍍位西南のところにあって東南約四〇〇㍍のところに大門があったということである。

島津家久の時代当寺の本尊を鹿児島の大竜寺に移し、十六羅漢は伊集院妙円寺へ、山門は鹿児島の城地入口へ、鐘楼は、当地屋形の数寄屋へ移したといわれている。このようにして衰退の一途をたどり、明治初年の廃仏棄釈の藩令で全く姿を消してしまった。大正の初め、町の先輩稲恒重節翁、その他有志の奔走によって、文之和尚の功績を永久に記念するためと、一つには和尚の墓のある安国寺を復興しようと、計画が着々進められたのである。敷地は京都相国寺の管長独山和尚の寄付金で買収し建物は、鹿児島市の南州寺の信徒が、お寺にゆかりのある庫裡を寄贈したものである。そして、南州寺の住職伊藤恵聡と、当地の医師宮内盛直は、当地の錦江義会や、松齢会にはかり、右庫裡の移転費を寄付してもらい、仏壇を安置して入仏式を挙げたのが、大正十四年四月十九日であった。そして、復興模合を設立して、昭和十年ようやく本堂の落成をみた。しかしその後経営が困難となったので、昭和二十六年町が引受け、公民館として維持、管理することとし、その資金として、往年新納時亮翁の主唱による錦江義会の山林処分をあてることにした。昭和四十二年十一月十八日に至って、南州寺住職矢野完道氏に売却し本堂の大修理がなされ、住職をおいて管理されている。

百年間も伝統を守る〝ひなじょまつり〟

＝隈原子ども会＝

赤ちゃんの健康を祈り踊りを披露する女の子たち

西別府の隈原部落では、百年間も部落の女の子たちに代々受けつがれ続いている伝統行事ひなまつり、部落では「雛女明け」と呼んでいる行事が、ことしも月おくれの四月三日行われました。

この催しは、一年間に生まれた赤ちゃんの家を、三歳から中学生までの女の子たちが晴れ着で着飾り、お母さんたちからきれいに化粧をしてもらい、伝統の古い歌「踊れば花じゃ、踊らんにゃ損じゃ…」と歌いながら踊りを披露し回り赤ちゃんの健康を祈る行事であります。

今年の対象は十四戸で主役の女の子たちは十五人。踊り手の親頭役を勤めるのは榎谷輪子さん（永原中三年）で、午前中は部落内の家からフダン草をもらって回ったあと親頭の家でカツオブシのダシでつくったフダン草と豆腐のスマシ汁を全員でふるまい、腹ごしらえが終わるといよいよ本番。十五人の女の子たちは、百年間も受けつがれている歌を口に、無心に踊り赤ちゃんの成長を祈りました。

最近は若夫婦が少なく、希望により他の部落などに嫁に行った家も回るようになったそうです。

この隈原部落の「ひなじょ明け」は、時代は変ってもまだまだ女の子たちに受け継がれて続いていくことでしょう。

郡畜産共進会

最優秀賞に五頭

春の町畜産品評会は、四月九日辺川で行われ牛、豚三十二頭が出場。これから選抜された牛四頭、豚三頭が去る四月二十五日、郡中央家畜市場で行われた郡畜産共進会に出品され、本町は最優秀賞に五頭も選ばれるなど立派な成績をおさめました。

所見として「資質、肉質の改善を図るため種雄牛の選定が良く行われ骨じまり、皮膚が改良され、産肉量を考えて肋張りが良く、飼料の利用性の高いのが多かった」と講評され、秋の品評会が期待されます。

成績は次のとおりです。

最優秀賞

肉用牛＝大脇修身（木田）楠元正男（西別府）穂満茂（木田）
種豚＝柚木成人（反土）二頭

優秀賞

肉用牛＝外村一男（西別府）
種豚＝外薗暢一（木田）

家庭の医療

しゃっくりが出たとき

冷水を少しずつ飲む

しゃっくりが続くのは、つらいものです。

しゃっくりは一般には放っておいても自然に直ります。しかし、中には放っておくと危険なものもあります。

いつまでも止まらないときは内科医へ。子供は小児科に連れてゆきましょう。

〈しゃっくりが出るのは〉

原因はさまざまです。次にあげるようなちょっとした刺激が加わって、呼吸作用を補助する筋肉がけいれんし、収縮を起こしてしゃっくりが出ます。

たとえば熱いものとか、消化の悪いもの、アルコールなどの刺激性のあるものを飲み込んだときなどです。乳幼児はミルクを飲んだあとなど、ちょっとした刺激でも、しゃっくりを起こすことがよくあります。

〈乳幼児の場合〉

背中を軽くたたいたり、さすったり――あるいは、茶さじにちょっと砂糖をつけてなめさせてみてください。なかなか止まらないときは、あお向けに寝かせて、胃の上あたりに両手をあて、しばらく静かに軽く押えるようにしてみましょう。

〈大きい子供の場合〉

深く息を吸い込んでそのまま瞬間的に息をとめさせます。あるいは、できるだけ長く舌を突き出して、しばらく息を止めさせてみてください。また、体を前にかがめて息を止めさせるのも効果があります。

〈それでも止まらないとき〉

冷水を少しずつ、ゆっくり飲んでみます。また、首の後ろの部分を冷やすと、その刺激で止まることがあります。

急性伝染病や尿毒症、腹膜炎、開腹手術後などにしゃっくりが起きた場合は、危険なこともありますので医師の診察を受けましょう。

話題

豊作願って
お田植祭のモミまき

四月二十七日、木田地区では隼人町にある鹿児島神宮恒例の「お田植祭」で植えられるモミの種まきが木田郷の手によって行われた。

同地区には昔、四百年位前、鹿児島神宮の神田があったことから岩屋家を中心に木田区民がこうした古事を子孫代々引継ぎ、毎年同地区で育てられた苗が神宮の神田に旧暦の五月五日、木田組が先頭になってお田植歌を奉唱しながら植えられるのが慣例となっております。

この日は、鹿児島神宮神官の神事のあと上木田の今西富吉さん宅の田んぼ一㌃に、木田壮年会の手によって豊作を祈って種モミ「ミズホ」四升を手ぎわよくまきました。この苗代で育った苗は、六月三日の「お田植祭」で同神宮境内の神田約十㌃に植えられます。

壮年会によってモミまき

社会福祉協議会へ
車がお目見え

町社会福祉協議会では「愛の一声運動」として昭和五十一年から町内の七五歳以上の独居老人を対象に毎月二回給食サービスを行っていますが、これら給食の配送用などに使用する車「赤い羽根共同募金号」がこのほどお目見えしました。

これまでは老人福祉バスで配送がなされており、狭い道路など危険も共ない困っていました。幸い県共同募金会からの補助をいただき、不足額は尊い香典返しの積立金の一部を補充させていただき購入がなされたものです。

料理は町栄養推進員の方々に協力していただき、心のこもった食事を現在三〇人に配送していますが、この購入にともない能率もあがり社会福祉事業の推進や関係者に大変よろこばれています。

購入された「赤い羽根共同募金号」

庭ボーキ作りに励む
老人福祉作業所が再開

高井田の温泉横にある町老人福祉作業所が、四月十七日再開され町内のお年寄りが庭ボーキ作りに励んでいます。

この作業所は、昭和四十八年に開設され、一時は加治木ゲタ作りが盛んでしたが、このところ一時中断されていたもので、この再開に伴いおばあちゃんまで仲間入りし、昔話しに花をさかせながらの作業風景はとても楽しそうでした。

指導者は、反土の大角清済さん(モ0)と日木山の二俣ミネさん(モ0)で、城松夫さんを会長に、作業にはそれぞれ分担が決められ毎週一回火曜日に実施しています。

竹ボーキの材料は、高井田の尾崎さんが約一〇〇本を寄贈。今のところ家庭用に使っていますが、今後は町内の施設などにも寄贈したいと意気込んでいます。

「オモゴチャ、イッモハン」ち竹ボーキ作り

春の全国交通安全
運動を前に交通教室
—永原小学校—

五月十一日から二十日までの十日間、全国いっせいに春の全国交通安全運動が繰り広げられますがこの旬間を前に永原小学校（児玉校長、児童数一〇三人）では、五月二日、交通教室を開きました。

当日は、十時から加治木警察署の指導で「ぼくも、私も通る道」と題する映画を見た後、交通課の緒方部長が「最近は、この永原地区も車が多くなりました。交通ルールをよく守って、明るい平和な永原小学校にしてください」と話しがあり、つづいて、模疑信号機を使った道路の正しい横断のしかたや、自転車の正しい乗り方を町役場交通係の指導で勉強しました。十一人の新一年生も、信号機をよく見、手をあげ左右を確認して立派に横断しました。

左右を確認してハイ横断

ゴルフの練習や犬を
散歩させる方にお願い!!

最近はゴルフブームとなり、公共の施設内でのゴルフ練習や、気候もよくなったため犬の散歩等に利用される方が増えています。

町内公共の場所「学校の校庭や町営運動場」等でのゴルフ練習は危険もともないますので利用されないようにお願いします。

また犬の運動など、他人に迷惑をかけたり公共の場所を汚さないようにいたしましょう!

たばこは町内のお店で買いましょう。

婦人会だより・町婦連

五月!! すばらしい五月ばれ。目にしみるような新緑。その中で元気に泳ぐ鯉のぼり…。私たちの町では、こんなすてきな風景があちこちで見られます。

〝やねより高い鯉のぼり〟とついずさみたくなります。この元気に泳ぐ鯉のぼりに負けないよう、がんばりましょう。カキクケコ母さんになるために。

〝カキクケコ母さん〟もう皆さんおわかりですね。

カ…考える人。
キ…記録する人。
ク…工夫する人。
ケ…計画性のある人。
コ…行動する人。

みなさん! いかがです?自信のほどは。

婦人学級、婦人会活動、PTA活動、生活学校などいろいろな場で学習し、自分自身を高め、それを家庭生活の中で生かし、更に地域づくりに役立てようとする人はいつの間にかカキクケコ婦人に生れ変わっていくと思います。がんばりましょう。

子供の幸せを考える年

＝国際児童年＝

国際児童年1979

今年は国際児童年。

国連で、児童権利宣言が採択されてから、ちょうど二十年目にあたります。これを記念して〝子供は民族の宝、世界の宝〟という認識のもとに、子供たちの幸せについて皆で考えよう、という年なのです。この機会にわたしたちは子供たちの世界を直視し、そのありのままの姿を理解するとともに、新しい親子関係のあり方を見いだしたいものです。

このシンボルマークをみなさんご存知ですか。大人と子どもの和やかな関係を象徴するように、国連にゆかりの深い月桂樹の環の中で大小二つの人間像が抱きあっている様をあらわしています。よくごらんください。

国際児童年にあたり婦人会ではまず我が子、地域の子どもたちに目を向け、シンボルマークにあるように大きな腕で抱き、子どもらがすこやかに育つ家庭環境づくり地域づくりに力を注ごうとしています。物的に恵まれすぎた私たちの周辺、人間の心が忘れられた世相、このアンバランスの中で育つ子どもたちの将来を思う時、母親の集団である地域婦人会は、ささやかな事でもよい子供達のために行動しようとしています。

〝国際児童年にあたり
「さつまの母」の深い愛情で
ふるさとづくりを〟

と県婦連では呼びかけています。

また、我が子に向ける目をもっと広く大きく世界の子どもたちに向けようとしています。

世界に十五億の子どもがいます。そのうちの五億の子どもは、栄養も医療も教育も満足に得られないまま暮しています。日本では考えられない事です。

そこで全国地域婦人会では、「わが子の一日のおやつ代を世界の飢えた子どもに送りましょう。」と提唱しました。

私たちのささやかな善意をユニセフを通してこの子らに届けたいのです。

敗戦直後、日本の子どもたちは〝ユニセフ給食〟の脱脂粉乳で栄養失調から救われました。十五年間にわたる援助の総額は、当時のお金で六十五億にのぼるそうです。

今度は日本が立ち上る時です。

町婦人会でもこの運動に参加し世界の子どもがすこやかに、そして幸せに生まれ、育つことを願い開発途上国の子どもたちにあたたかい〝さつまの母の愛〟を届けたいと思います。みなさまのご協力をお願いします。

五十四年度
ボランティアと生活学校生を募集

南九州病院の筋ジス病棟と重心病棟への奉仕です。洗たく、つくろいなどどなたでも出来る仕事です。真心をもって奉仕してくださる方、ご協力ください。

生活学校運動は、ものを作る人売る人、研究する人、行政にたずさわる人などが、私たち主婦のとらえた問題を、話し合い、理解し問題解決の手段を確認しあい仲間で運動をして実践して自分の生活や地域社会をかえていく活動です。いずれも最寄の婦人会長か町婦連の事務局まで。

愛の手で世界を
結ぶ赤十字

五月は「赤十字社員増強運動強調月間」です。

日本赤十字社は国内はもとより全世界人類の平和と、福祉増進のため、博愛と人道を基調として活躍しています。この事業は、毎年一定の社費を納めていただく社員によって支えられており、だれでも社員に加入し協力する事ができます。

あなたの善意が赤十字活動を育てます。一戸に一人は日赤社員に加入しましょう。

竜門の会

量淡き月夜となりぬ花辛夷　井之上透山
病よし芽吹く街路の樟並木　鶴田　耕
鉢えらぶ木市に柳絮しきりなり　三浦　ゆう
尽すべくこの世はありぬ黄楊の花　徳留　末雄
盛り上る新樹それぞれ色持てり　横山　江南
花冷や弱る視力の文字太く　恒吉　斗南
脱稿の肩荷下ろして花見かな　田代　俊泉
合格の子の大きく見える肩の巾　川崎　黒兎
薮蔭に春を拾ひぬ蕗のとう　曽木　柳田
老桜輪廻語らず散るばかり　松永　愛子
焼け残る青竜胆や野路の露　宮脇　思川
引き潮の河口ゆらゆらかげろへる　加藤　白柳
春風や歩くに惜しきひもうせん　林　睦山

新しい先生まんじゅうで歓迎

町教職員就任式

26人の新任先生たち、かじきまんじゅうを口に！

町内の小中学校に新しく着任された先生がた二十六人を歓迎と激励する「教職員就任式」が、四月十六日、町福祉センターで開かれました。

式に先だち、新しい先生たち二十六人に町内を知ってもらおうと、マイクロバスで西別府の高岡公園へ案内、坂元社会教育課長の説明を聞き加治木の町（街）を眼下に見下し「ワアー」と一声。

式ではお互いに自己紹介のあと、教育長や町長が「ようこそ加治木においでくださいました。加治木町は昔から文化、教育、経済のうえに歴史と伝統をもっております。町としても健康でたくましいよい子を育てるため施設、設備等整備に努力しております。今年から約十億をかけて統合中学校を建設し、五十六年四月には三中学校が統合されます。どうか加治木の地に早くなれて先生たちの能力を十分に発揮していただき、精一杯頑張ってください。町民二万二千人に代わりご期待申し上げます。」と激励しました。

これにこたえて新任を代表して錦江小の石井校長は「加治木はあこがれの町でした。町民憲章に恥ないよう町民に信頼される教師としてこたえたい」と述べました。

このあと、加治木特産「竜門司焼」の湯のみが園田教育委員長から全員に贈られ、ジュースで乾杯のあと名物「加治木まんじゅう」が出された。このまんじゅうは特製で、市販のものより一周り大きく紅白のまんじゅう。先生たちは大きな口をあけパクリ、パクリ、腹ごしらえの後は町民歌を斉唱し、就任の式は終りました。

新任の先生がたを紹介します。

柁城小学校
教諭　宮里　哲彦　鴨池小から
教諭　広瀬　健　与路小から
教諭　森山　貢　南方小から
教諭　梅木しづ子　新採用
講師　大園　道雄　期限付

錦江小学校
校長　石井　可栄　武岡小から
教諭　山口　昭　国分西小から
教諭　林　祥子　新採用
講師　大窪　真弓　期限付

永原小学校
教諭　重森　茂　国分小から
教諭　西村　正美　川上小から

竜門小学校
教頭　徳田　勇　栗野岳分校から

加治木中学校
教諭　末田　邦彦　天保山中から
教諭　上野　俊　牧之原中から
教諭　冨満ノリ子　城西中から
教諭　尾辻　善久　牧之原中から
教諭　柳　範一　東郷中から
教諭　吉満　兼盛　川内南中から
講師　緒方　敦子　期限付
講師　瀬戸口祥子　期限付

永原中学校
教諭　岩井堂定男　霧島中から
教諭　渡口　尚子　新採用

竜門中学校
教頭　山元　巌　神川中から
教諭　横山　之貞　福山中から
教諭　追鳥千鶴男　牧園中から

学校教育課長
教諭　内野　玲　伊敷中から

幅広い勉強をしようと
学級生350人が合同開講式

本町社会教育諸学級の開講式は四月十一日町福祉センターで三五〇人が参加して行われました。

高齢者学級には、書道・民踊・園芸・生花・美術工芸・音楽の六学級。婦人大学校には、栄養・音楽のほか中央婦人学級と中央家庭教育学級の各種学級があり、一年間希望する学級で、それぞれ勉強しますが、これら開講式に参加した高齢者から若い婦人まで三五〇人は、教育長のあいさつや、講演を熱心に聞き、メモをとっていました。

講演は「学習と生活」と題して伊集院文化会館長新地新先生が「生涯教育の時代という今日、若いご婦人から、年はとっても幅広く学習したいという高齢者まで、たくさん集ってくださいました。子どものしつけは親の責任であります。子どものうちに、世の中は思うとおりにならないと教え込むことであります。高齢者になったら「優雅に」「大らかに」「はつらつ」と生き意欲をもってなんでも学習し、広く社会に還元してください」と講演されました。

つづいて各学級の分科会に別れ年間計画などが協議され、開会式は終りました。

熱心に新地先生（円内）の講演を聴き学習

おしらせ

住宅金融公庫の受付けが開始！

公庫の個人向け住宅建設資金昭和五十四年度第一回受付けが始まりました。

受付日順に無抽せんで選定され予定戸数に達したら締切られることがありますので早目にお申し込みください。

申込期日＝昭和五十四年五月一日から五月三十一日まで

貸付利率＝年五・〇五パーセント

融資限度額＝木造で三百六十万円、不燃構造で五百二十万円、耐火構造で六百十万円。（改良資金「増改築、修繕」二百五十万円もあります。）

借入申込先＝公庫業務取扱金融機関

詳しくは、住宅金融公庫熊本支所（電話〇九六三―二四―二一一二）か公庫業務取扱金融機関へ問い合わせください。

赤十字運動月間始まる

今年も五月一日から五月三十一日までの一ケ月間「赤十字社員増強運動強調月間」として、赤十字の精神や目的、事業を一人でも多くの人に理解していただき「各戸に一人は赤十字社員」を目標に、この運動が全国一斉に展開されます。

加治木町では、現在一五五人の方が社員になっておりますが、赤十字をご理解いただき、さらに一人でも多くの方が加入くださり、本町目標額の百三十九万円は是非達成したいものです。

皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

母と子の対話

お手伝い

家庭生活の役割を持たせよう

お手伝いをさせるといっても雑多な用事を次々に言いつけることでは、決してありません。

子供は、二、三歳ごろから、親のしていることに手を出したり、見よう見まねで、自分でもやってみたりするようになります。

食器をかたづけたり、グラス一杯の水を運んだり……ところが、本人の〝やる気〟とは裏腹に結果的には失敗に終わることが多いようです。

おかあさんとしては、後始末がたいへんで、ついつい「余計なことは、しないでちょうだい」などと口走ってしまうことになりがちですが、ちょっと待ってください。

子供のお手伝いが、母親にとってさほど役に立たなくても、またそれが結果的に失敗に終わっても子供が自分から進んで何かをしようとするこの時期こそ、自主性を育てる上で、いいチャンスなのです。できないことをしかる前に、自分でやろうとする意欲をほめてやってください。

積極的な気持ちからお手伝いをしているとき、子供は、自分が役立っているという喜びを感じています。お手伝いを通して子供は子供なりに、家庭の一員としての役割を知ることになるのです。お手伝いは、親と子の新しいコミュニケーションの始まりといえるでしょう。

うぶ声

三月二十一日から四月二十日受付分

出生者　保護者　部落

城真奈美　忠義　下浜

木場正洋　建一　豊町
後迫直美　秀明　西塩入中
小屋春香　国広　高井田
白尾善生　親昭　西ノ原
綾田環姫　民樹　蔵王団地
松田龍憲　博史　高井田
屋所鈴代　勝幸　江口団地
杉本智典　裕二　港町
大園麻美　親正　田中
曲田弥生　義明　田中
益満祐助　常男　垂ノ口
福迫三枝子　文博　田中
嶽本みさ子　博幸　蔵王団地
田中康隆　浩　西浦西
東郷道太　道憲　柳田
木ノ下さゆり　武志　岩原東
三浦悟志　寛彦　弥勒
坂元三千代　孝　口ノ町
中田雄士　義弘　港町
野元雅史　則博　田中
福永高史　博行　田中
木元真哉　繁　今町
山口小百合　三雄　竹下
岩崎陽子　好　西ノ原
横山菜緒　孝一　西塩入上
岩下真吾　繁美　須崎
小島妙子　大征　新中
横井陽子　實利　港町
向江大作　力夫　鶴原
今吉哲吾　哲之　田中
上原由紀　一夫　西塩入下

香典返しを寄付

香典返しのかわりにご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。

今月は固定資産税の納期です。

ますとともに故人のごめい福をお祈りいたします。（　）内は故人

＝町社会福祉協議会へ＝

二万円　竹下　徳永　隆（ハマ86）
一万円　今町　緒方　進（金之助84）
一万円　岩原西　亀岡　義治（千鶴子）
一万円　上嶽　樗木　栄（市二71）
一万円　迫上　竹崎　マツ（栄吉86）
二万円　井手向　花牟礼ケサミツ（清79）
三万円　西町　美坂猪三郎（トメ76）
二万円　中福良後豊村　忠男（重男78）
五千円　岩原東　前田　道江（義光56）
一万円　西反土前馬庭ハギ子（秀春67）

＝町育英奨学資金へ＝

一万円　竹下　徳永　隆（ハマ86）

＝町国民年金協議会へ＝

一万円　中福良後岩崎　郷二（ワカ78）

▽…四月二十日までのご寄付を掲載いたしました。